

『投稿！わがまち自慢の一枚』



岡山県岡山市

岡山市は、岡山県の南部に位置する政令指定都市で、707,916人（※）の人口を抱えます。（※令和7年国勢調査の速報値）

自然災害が少なく、年間を通じて温暖でおだやかな気候で、「晴れの国おかやま」と呼ばれています。

広域交通のクロスポイントとして優れた交通アクセス網を有しており、新幹線の乗り継ぎなどで岡山市に立ち寄ったことがあるという方も多いのではないのでしょうか。

また、雨が少なく温暖な気候の恵みを受けて、果物をはじめとした品質の良い農作物が数多く作られています。白桃やマスカット、ピオーネなど、季節の美味しい果物を食べに、ぜひお越しいただければと思います。

さて今回は、岡山市を代表する観光・歴史スポットである「岡山城」についてご紹介します。

岡山市のシンボル・岡山城は、今年、再建60周年という節目を迎えます。カラスの羽を連想させる黒塗りの外観から「烏城（うじょう）」という別名があります。天守は全国的にも珍しい不等辺五角形の形状をしており、周辺には、築城時からの時代の変遷を物語る多彩な石垣が残されています。異なる時代の石垣を一度に見ることができる岡山城は、まさに「石垣の博物館」といえます。

この岡山城を築いたのが、豊臣五大老であった戦国武将・宇喜多秀家。そして、その父・宇喜多直家は、岡山のまちの礎を築いた人物です。宇喜多家は動乱の時代に現れ、一閃の光芒を放った後、歴史の中に消えていきました。親子二代にわたる波乱に満ちた生涯は、まさに大河ドラマにふさわしい壮大な物語です。岡山市では、この宇喜多家を主人公とした大河ドラマの実現を目指し、令和5年から誘致活動を展開しています。城郭イベントや署名活動、シンポジウム、広報活動などを通じて、その歴史的魅力を全国に発信していくべく活動しています。

ぜひ、戦国宇喜多家の大河ドラマ誘致に向け、応援をお願いします！



宇喜多大河ドラマプロジェクトの
ロゴマーク

不等辺五角形の天守台を持つ岡山城

※アカデミアでは、「広報の効果的実践」研修の修了生や自治体の広報担当者を対象に、キラリと光るふるさと自慢のフォトスナップを、表紙の写真として募集しています。詳しくは市町村アカデミー調査研究部043-276-3127までお問い合わせください。